

のら
動か
現場
運現
特秘
定密
と市
民
護法

【教育】

愛国心教育を加速させる 秘密保護法

渡辺 厚子



私たちが「国旗国歌」尊重義務化に反対する12・5院内集会を開いているまさにそのとき、参院国家安全保障特別委員会において特定秘密保護法案が強行採決され、翌6日には本会議で成立した。国会へ向かってあげる拳の先の銀杏は、06年教育基本法のとくと同じく金色に輝いていて、悔し涙がにじむ。

*安倍政権下の教育

第2次安倍政権は峻のような決意で、国内的には「天皇統治の軍事国家」、国際的には「アメリカ属国」の道を進もうと、大急ぎで立憲主義平和主義を壊す。安倍政権は教育を商品として自由競争にさらす一方、「その他大勢」の子どもを国家に従順な人間に育てるため、学校を「愛国心調教工場化」しようとして躍りになってきた。最近では道徳を教科化し、教育行政を首長の下におこうとするなど戦後教育改革を次々潰している。

すでに東京では、10・23通達を境に「日の丸・君が代」強制など教育破壊が格段に進んだ。特に安倍政権になり、軍隊への親和化、歴史の歪曲、天皇の戦争責任否定、愛国心が露骨に子ども達に刷り込まれる。自衛隊基地での高校生の宿泊訓練、都独自教科書「江戸

から東京へ」の活用、決定済みの実教出版教科書の差し替え、「はだしのゲン」の使用調査等が進行し、決定権を奪われた教職員はもがいている。区や市の議会、教育委員会に「日の丸」常時掲揚、「はだしのゲン」撤去、教科書採択を執拗に陳情する学校側と連動した地域の動きも目立つ。改憲なしに天皇元首化、「日の丸・君が代」尊重義務化の道が着々進む。

*情報を統制する教育行政

競争と愛国心、差別・排外意識が強められる中、学校では子どものいじめ自殺や教員のうつ自殺、中途退学の増大、「日の丸・君が代」450名教職員処分など深刻な問題が起きているが、自殺には箝口令がしかれ当該教職員すらよくわからない。不当な業績評価、分限免職処分、「君が代」処分に異議申し立てようと本人が開示請求しても、個人情報保護という名目で本人名以外黒塗りだ。教科書採択では改ざん（編注／横浜市立高校の希望する教科書を教育委員会事務局が書き換え）も明らかになった。都教委は、校長にしか通じない「タイムズ」と呼ばれるメール連絡法で「学校経営」を指令し、「君が代」斉唱に不起立した保護者の報告やごく些細なことがらまですべ

てに「報・連・相」（編注／報告・連絡・相談）を求め、情報を操る。都議会文教委にも都合のいい情報しか出していない。私たちは、裁判に訴えようやく情報の一部を手に入れ、闘いをしてるのが現状だ。

*思考を縛る秘密保護法

秘密保護法は現状の情報集中、情報隠し、改ざん、嘘情報流しを一層強め、当事者にとつての事実を奪い、「おかしい」と闘う術を奪うだもつと問題なのは不服があつても黙って従えという、とどのつまり人の思考を縛ることになるといふことである。秘密保護法は国家が個人の精神的核である内心の自由を奪う。「国家への従属」を注入し、はみ出さないよう同調圧力をかけ、はみ出せば排斥し罰を与え人を縛る愛国心教育は、同質のこの法によつて加速される。秘密保護法が、教育を補完し、教育に補完され効果を強めるのだ。治安維持法の入り口にきたのだと強く思う。

立ち止まらず廃止運動を続けていこう。再び「暁を抱いて闇にいる蕾」（編注／数多くの鋭い反戦川柳を詠んだ鶴彬の作品）にならない為に、戦時下で兵役拒否を貫いた人間が存在したことに大きな力を得て、少なくとも私は「服従しない」を言い続ける人間であり続けたい。（わたなべ・あつこ／元東京都立北特別支援学校教員）